

第33回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

A. 環境・生活様式

【HP 掲載No.A02】

| | |
|---|---|
| 発表No. | A02 |
| タイトル | ニューノーマルに対応した公園利用に関する考察 — 高槻市安満遺跡公園を事例として — |
| 所属・名前 | 独立行政法人都市再生機構 玉泉 大樹 |
| キーワード | ①ニューノーマル ② ハーフメイド ③ 公民連携 |
| <p>高槻市に整備された安満遺跡公園は、今年 3 月に全面開園し、広く市民に活用されている。感染症の影響によりニューノーマルなライフスタイルが求められ、公園緑地の価値が再注目されている今日、面積約 22ha ものオープンスペースが市街地に生まれたことには大きな意義がある。</p> <p>広域避難地としての防災機能はもちろんのこと、公園に隣接した子育て支援施設とあわせて子育て支援の拠点を形成し、公園管理事務所及び市民活動拠点であるパークセンターや全天候型の子どもの遊び施設、民間活力を導入したカフェ等により人々が集まるための賑わい空間を創出した。さらに、時代やニーズに合わせて市民とともに成長し続ける公園にするため、あまりつくり込まないハーフメイドの公園づくりを実践するなど、持続可能な公園運営にも取り組んでおり、今後の公園の在り方を検討する際の一助となることを目的に報告するものである。</p> | |